

「第12回ふれあいコンサート(ファイナル)」実施要項

2025. 3. 18 (火)

下線部分は大きく変更した部分

1 昨年度までの経過

ふれあいコンサートは、音楽で表現することに取り組んでいる障がいのある人々の発表の場をつくり、障がいのある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽のちからで「心のバリア」を超えて温かな幸せを共有できる場をつくることを目的として、平成23年10月から開催してきました。その間新型コロナウイルスのまん延による中止や動画配信を経て、第11回までに延べ2,500人以上の障害のある方々に出演していただくとともに、10,000人を越える一般市民の皆様にご覧いただくことができました。

そして、私たちNPOでは今までのコンサートの成果と課題をまとめるとともに、コンサートの見直しを検討してまいりました。具体的には、①経費と収入の確保②準備計画の人材確保(教員定年延長による退職者の減少)③当日運営の人員確保④出演団体の募集方法等についてです。第11回ではスリム化を目指して1会場にすることにより、経費の削減や少人数での運営を行い、より多くの皆様にご覧いただくために動画配信も行いました。しかしながら、今後も継続して開催していくためには多くの課題が残り話し合いを重ねてきました。

そこで、非常に残念ですが令和6年度(2024)は準備不足のためコンサートを開催せず、令和7年度(2025)に第12回ふれあいコンサートを開催して最終ファイナルコンサートとすることにしました。

2 第12回開催にあたって

- (1) 少ない予算と人員で開催できるようにするため、きぼーるアトリウム1会場とする。
- (2) 開催月日は障害者週間(12月3日から9日)を考慮する。
- (3) より多くの方に見ていただくため録画配信をする(アーカイブ配信)。
- (4) ファイナルコンサートとして多くの団体に出演していただくために、録画配信は希望する団体のみとする。著作権及び著作権隣接権に関わる音源を使用する場合は、録画配信では団体名の紹介のみ又は映像のみ(無音)の配信とする。

3 目的

音楽で表現することに取り組んでいる障がい者団体や個人の発表の場をつくり、障がいのある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリア」を超えて温かな幸せを共有できる場をつくる。

4 基本的な考え方

- (1) 障がいのある人もない人もみんな違っていてもみんなおんなじ、一人一人かけがえのない存在です。
- (2) みんなで音楽を表現し合えば、笑顔がいっぱい、音楽のチカラで心のバリアフリーを目指します。
- (3) みんなの笑顔が「しあわせのたね」もっと広く遠くへみんなでとばします。

5 内容

障がいのある人もない人も音楽やダンスを楽しみながら広く多くの人々に見てもらおうコンサートを開催する。

<具体的には>

- 音楽や表現活動をしている障がいのある人の発表の場を広げたい。
- 障がいのある人々が音楽を楽しんでいる姿を、見て、聴いて、感じてほしい。
- 障がいのある人もない人もいっしょに音楽を楽しむ場にしたい。

